

教授 広瀬 雄二 (HIROSE Yuuji)

研究シーズ

【情報・通信・メディア】

専門

ウェブ情報学/情報システム/情報セキュリティ/
ヒューマンインタフェース/計算機システム

研究キーワード

地域文化ストーリーマップ/情報セキュリティ/教育用情報
システム/プログラミング教育/IT技術と地域活性化



研究テーマ

オープンソースを基盤とした情報システム

研究の概要

地域文化とIT技術の融合をテーマに、地域文化の保存・伝承を支援する情報システムの設計や、教育用情報システムの効率化に取り組んでいます。特に、地域文化ストーリーマップの構築や、教育およびプロジェクト推進支援のためのSNSの開発に注力しています。また、情報セキュリティやヒューマンインタフェースの分野でも研究を進め、地域社会や教育現場でのIT活用を通じた持続可能な発展に寄与しています。

オープンシステムを主たるフィールドとしています。様々な取り組みをデジタル化する動きが各所で見られますが、それらはライセンス的な権利問題や費用の問題で頓挫するケースが散見されます。例えば東日本大震災の記憶を残すためのデジタルアーカイブが多数作られましたが、ライセンス費用の問題で約十年で閉鎖を余儀なくされています。そうした問題を回避するため世界中で多くの人がオープンソースソフトウェア・オープンデータを提供する活動をしています。持続可能なデジタル社会を切り開くために、オープンシステムを主軸とした展開の方法の開発に取り組んでいます。

その他の活動の紹介はネット上の情報に譲ります。

セールスポイント

地域文化の保存や教育現場でのIT活用に関する豊富な知識と実績を持ち、地域社会の課題解決に向けた実践的な提案が可能です。特に、地域文化ストーリーマップや教育用情報システムの設計において、理論と実務を融合したアプローチが強みです。また、情報セキュリティやプログラミング教育の分野でも、具体的な成果を提供する能力があります。

情報システムにおいてはサーバシステムからユーザインタフェースまですべての層を単独で設計・構築してきたフルスタックの技術があるため、それらの分野で方向性や具体的実装方法を含めた提案が可能です。またプログラミングを含めた情報技術教育・科学教育について教育内容の設計、またその運営を含めたプロジェクト推進に関して実績に基づいたノウハウがあります。社会貢献活動としての情報技術教育を持続可能なオープンシステムで展開し、先進的な技術立国の地位を取り戻すことに関心のある場合の協力ができる準備があります。

想定される用途・応用例・活用例

- ・ 地域文化ストーリーマップを活用した観光振興プロジェクトの設計・実施
- ・ 教育現場でのIT活用を支援する情報システムの開発
- ・ 初等教育での情報技術向上を目的としたプログラミング教育プログラムの提供
- ・ 情報セキュリティ対策の設計・導入支援
- ・ 地域文化とIT技術を融合した新たな地域活性化モデルの構築